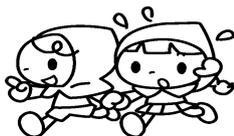


平成27年度 岩村こども園地震対応マニュアル

地震発生



東海、東南海地震を想定して…

時間帯	保育の場面 園児のいる場所	避難場所	避難方法及び留意点
7:30 ~8:30	早朝保育中	押入れ下段と机の下にもぐる。 →園庭器具庫の前	※早番の非常勤職員も避難方法やヘルメットの保管場所を把握しておく。 揺れが治まったら、園庭に出て、器具庫の前へ避難する。
8:30)	遊戯室	年長 小学校側へ 年中・少 園庭へ	※日頃から、遊戯室内の避難出口を園児と確認しておく。 4月~10月は上靴を履いて入室する。(ござはひかない) 頭を守って小さくなる。(だんご虫のポーズになる。) 揺れが治まったら指示に従ってそれぞれの出口から外に出る。
	保育室	机の下に頭を入れてもぐる →器具庫の前	保育教諭の声掛けで机下に入り、机の脚をしっかりとつかむ。 揺れが治まったら、担任の指示で防災頭巾をかぶり、毛布の上を通り園庭に出て、器具庫の前へ避難する。
	廊下	近くの部屋の机の下に頭を入れてもぐる →器具庫の前	近くの部屋の机の下に入り、机の脚をしっかりとつかむ。 揺れが治まったら、避難した部屋の担任の指示で防災頭巾をかぶり、園庭に出て、器具庫の前へ避難する。
	園庭	園庭中央→器具庫の前	揺れたら、周りの安全を確認しながらその場にしゃがむ。 動ける場合はすぐに、器具庫の前へ避難する。
	園外中	危険な山、川際を避け、安全な場所にかたまって座る。 ※先生の見える範囲で遊ぶ。 ※下見をしっかりとしておく。	※園外場所の地形をしっかりと把握し、避難場所も想定して計画しておく。 保育教諭は子供の安全を確保した後、こども園に連絡を入れる。揺れが治まって動ける状況ならこども園に向う。無理な場合は、落下物の無い安全な場所で待機。近隣の人にも声を掛け、園児の安全確保を助けてもらう。
16:30	プール中	水中の場合は水からあがり、フェンスにつかまる。	年中、年長はプールサイドに上がりフェンスにしっかりとつかまらせる。揺れが治まったら靴を履かせて避難する。出入り口が危険な場合は一人ずつ抱き上げてフェンスの外へ降ろす。 年少はプールの園庭側に子どもを集めて、水の中から一人ずつ外に出す。 外に出た保育教諭は、園児を器具庫の前へ避難させる。
16:30~ 18:30	延長保育中	押入れ下段と机の下にもぐる。 →園庭器具庫の前	※延長保育当番の非常勤職員も避難方法やヘルメットの保管場所を把握しておく。 揺れが治まったら、園庭に出て、器具庫の前へ避難する。

※揺れが治まったら、園長は素早く教室内外の状況を把握して、避難の指示を出す。

※指定の避難場所に避難したら、すぐに人員点呼、負傷者等の有無の確認をする。

※放送機器の故障も想定して、放送がかけられない場合の指示の方法についても打ち合わせておく。

※マニュアルにとらわれすぎず、状況に応じて判断し、柔軟な対応をする。